

# JIS

## 銅及び銅合金中のけい素定量方法

JIS H 1061 : 2006

(JCBA/JSA)

平成 18 年 9 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 非鉄金属技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	神 尾 彰 彦	東京工業大学名誉教授
(委員)	碓 井 栄 喜	社団法人軽金属学会 (株式会社神戸製鋼所)
	木 股 隆 三	株式会社ビスキヤス
	小 出 正 登	日本伸銅協会 (三菱マテリアル株式会社)
	近 藤 良太郎	社団法人日本電機工業会
	齋 藤 鐵 哉	独立行政法人物質・材料研究機構
	下 村 孝	社団法人日本鉄道車輛工業会
	田 村 泰 夫	日本鋁業協会
	中 村 守	独立行政法人産業技術総合研究所
	西 村 尚	東京都立大学名誉教授
	馬 場 孝 三	住友金属鋁山株式会社
	林 央	社団法人日本アルミニウム協会 (独立行政法人理化学研究所)
	矢 萩 強 志	財団法人日本船舶技術研究協会
	和 田 陽	株式会社神戸製鋼所

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成元.2.1 改正：平成 18.9.20

官 報 公 示：平成 18.9.20

原 案 作 成 者：日本伸銅協会

(〒110-0005 東京都台東区上野 1-10-10 うさぎやビル TEL 03-3836-8801)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：非鉄金属技術専門委員会 (委員長 神尾 彰彦)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本伸銅協会(JCBA)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって **JIS H 1061:1998** は改正され、この規格に置き換えられる。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について、責任はもたない。

## 目 次

	ページ
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 一般事項	1
4. 定量方法の区分	1
5. 二酸化けい素重量法	3
5.1 要旨	3
5.2 試薬	3
5.3 試料はかりとり量	4
5.4 操作	4
5.5 空試験	5
5.6 計算	5
6. モリブドけい酸青吸光光度法	5
6.1 要旨	5
6.2 試薬	5
6.3 試料はかりとり量	5
6.4 操作	6
6.5 空試験	6
6.6 検量線の作成	6
6.7 計算	6
7. 原子吸光法	7
7.1 要旨	7
7.2 試薬	7
7.3 試料はかりとり量	7
7.4 操作	7
7.5 空試験	8
7.6 検量線の作成	8
7.7 計算	8
8. ICP 発光分光法	9
8.1 要旨	9
8.2 試薬	9
8.3 試料はかりとり量	10
8.4 操作	10
8.5 空試験	10
8.6 検量線の作成	10
8.7 計算	11

解 説.....13

白 紙

## 銅及び銅合金中のけい素定量方法

## Methods for determination of silicon in copper and copper alloys

1. **適用範囲** この規格は、銅及び銅合金（伸銅品、鋳物用銅地金及び銅鋳物）中のけい素定量方法について規定する。

2. **引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。この引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS H 1012** 銅及び銅合金の分析方法通則

3. **一般事項** 分析方法に共通な一般事項は、**JIS H 1012** による。

なお、モリブドけい酸青吸光光度法 [4. b)] 及び ICP 発光分光法 [4. d)] に使用する水は、蒸留法によって精製した水とする。

4. **定量方法の区分** けい素の定量方法は、次のいずれかによる。

なお、銅及び銅合金の日本工業規格に規定する種類の合金番号、又は種類の記号ごとの、適用定量方法は、表 1 による。

a) **二酸化けい素重量法** この方法は、けい素含有率 0.1 %（質量分率）以上 5.0 %（質量分率）以下の試料に適用する。

b) **モリブドけい酸青吸光光度法** この方法は、けい素含有率 0.002 %（質量分率）以上 0.20 %（質量分率）以下の試料に適用する。

c) **原子吸光法** この方法は、けい素含有率 0.2 %（質量分率）以上 5.0 %（質量分率）以下の試料に適用する。

d) **ICP 発光分光法** この方法は、けい素含有率 0.002 %（質量分率）以上 5.0 %（質量分率）以下の試料に適用する。